

コンクール、県中総体を終えて

～各部活動父母の会の皆様から～



<吹奏楽部>

◎中央地区吹奏楽コンクールを終えて

指揮棒を構えた瞬間、一斉に指揮者を見つめる部員達の真剣な眼差し、静まった会場に走る緊張感。私はあの一瞬の空気がたまらなく好きです。

今年度のコンクールでの演奏曲は「フォスターラブソディ」で、天王南はトップバッターでの演奏でした。テンポや曲調を変化させながらメドレーのように絡み合う旋律。数分間のラブソディ（狂詩曲）に、これまでの様々な出来事が頭に浮かんで重なり合い、心が打たれました。部のモットーである「届けよう 想いを」にふさわしい素晴らしい演奏だったと思います。結果は惜しくも銀賞ではありましたが、これまで音楽を通して仲間達と苦楽を共にした時間や経験は、きっと部員達を大きく成長させると同時にかけがえのない宝物となった事でしょう。

ご指導下さった顧問の加藤剛先生・山田翠先生、日頃ご協力いただいている保護者の皆様、遠方にも関わらず会場まで駆けつけてくださった先生方へ心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

南中祭ではコンクールとはまた違った、のびのびとした演奏を届けてくれるものと思います。是非多くの皆様にご覧いただけると幸いです。

吹奏楽部保護者会 会長 浪岡 瑞穂

＜女子剣道部＞

◎中総体を終えて

初めての夏は先輩2人と出場し、悔しがる間もなく終わった。

二度目の夏は先輩と2人。人数が足りず団体戦には出場することができなかったが、2人で個人戦全県大会出場をもぎ取った。

その後、先輩が引退し女子部員

は1人に。秋季大会団体戦には出場できず、錬成会などの大会では、その日初めて会った他校の選手とチームを組んで出場することもあった。

最後の夏は後輩が3人も入部し、団体戦に出場できた。悔しい結果となったが、それでも、チームを組めなかったことを思えば、団体戦に出場できるだけでもありがたかった。たったの2ヶ月間だったけど、最後に女子キャプテンにしてくれてありがとう。団体戦に出場させてくれてありがとう。悔しい結果に泣いたこともあったけど、最後に笑顔でいられたのはチームメイトのおかげです。本当にありがとう。これからの活躍を心から応援しています。

女子剣道部 保護者 笹木 智子



＜水泳＞

◎県中総体を終えて

去年までは1人の水泳部でしたが、今年は3人が入部し4人で大会に挑みました。

普段は各々のスポーツクラブで練習していますが、試合前には時間の確認などで支え合い、名前を呼び応援していました。

試合後には仲良く会話をしながら昼食を取っていました。

部員が増えて本当に嬉しい光景でした。

今回は全県大会で敗退となってしまいましたが、来年度は東北大会出場目指して頑張ってください。

水泳部 親の会 湊 賢美



＜編集後記＞

ご多忙中にもかかわらず、思いのあふれるメッセージを寄稿くださり、本当にありがとうございました。また、様々な場面でのこれまでのご支援、本当にお疲れ様でした。